

12月号 足寄高校通信

日本一の学びの環境は
日本一大きな町にある

出会おう!

発行年月日：令和7年12月19日
発行・行・校長：石橋　宗
発行責任所：北海道足寄高等学校



今号は、生徒たちの活動近況をお伝えします。

旗 海外研修



10月17日～24日

カナダ・ウェタスキウインで、優しいホストファミリーと一緒に過ごす、ゴルフやホットドッグ作りなど、いろいろな体験をさせていただきました。海外研修を通じて、片言の英語でも伝わることや、異なる環境で暮らすために、自ら考え、行動する重要性を学びました。これらの経験により、日本に帰国後、行動力が向上したと感じています。

(2年B組 阿部 亮太郎)



初対面の人と話すのが苦手な私にとって、海外研修は、不安の連続でした。しかし、ホストファミリーや現地の方々の温かいサポートや思いやりに触ることで、素敵な思い出がたくさんできました。この経験を通じて、困っている人に手を差し伸べることの大切さを実感し、私も誰かの助けになれる人になりたいと強く思うようになりました。

(2年B組 長屋 雪菜)



緊張や不安を抱えながらも、カナダ到着後はホストファミリーとともに、有名な観光地や大型ショッピングモールを訪れ、充実した日々を過ごしました。ホストファミリーとの交流を通じて、外国人に対する印象や価値観が大きく変わり、社会への視野が広がる貴重な研修となりました。

(2年B組 今村 成斗)

世界最大級のショッピングセンター「エドモントンモール」を訪れ、現地の文化の豊かさを肌で感じました。ホームステイを通じて、英語が完璧でなくてもジェスチャーや笑顔で気持ちを伝える大きさを学びました。この経験から、自ら行動する「主体性」の重要性に気づきました。今後も新しい挑戦を恐れず、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

(2年A組 尾野 美咲)

探究活動フィールドワーク

9月～11月

「探究学習のプロセス」における「情報収集」の1つに、「フィールドワーク（現地調査）」があります。今回は「訪問調査」を目的とし、現場の様子を直接見聞きし質問などに取り組みました。生徒たちは、ネットやSNSだけでは得られる情報には限界があるという気づきや、事前依頼などの活動手順について多くの学びを得たようです。この場をお借りして、地域の皆さまの温かいご協力に、心より感謝申し上げます。

(探究学習担当教諭 Aさん)



足寄町への移住者に焦点を当て、役場や「びびっどコラボレーション」でのフィールドワークを通じて、人口減少が抱える課題の難しさを学びました。今後の探究・進路活動に活かしていきます。

(1年A組 Hさん)

私たちは足寄町の空き家「ぎまんち」を訪れ、改修された民泊施設を見学。事前の質問や予想と異なる意見も得られ、貴重な学びとなりました。

(1年A組 Nさん)

フィールドワークに不安を感じましたが、調べ学習や電話インタビューなど、新しい経験を通じて成長できた気がします。私たちのグループは、足寄の食材を使った商品開発に取り組み、インタビューを通じて探究の成果を深めることができました。

(1年A組 Kさん)



私たちのグループは、「足寄ぬくもり農園」でのフィールドワークを通じ、イチゴの廃棄部分の活用や商品開発の難しさを学びました。学びを活かし、改善策を考え、廃棄部分を活用した商品開発に挑戦します。

(1年B組 Sさん)

私たちは、足寄町内の2つの事業所でフィールドワークをしました。2つの事業所では、丁寧なご対応や実験に必要な材料の提供などをもらいました。この経験は、貴重な学習の機会となり、グループの探究力がプラスとなった良い学習の機会を感じました。

(1年B組 Nさん)

私たちのグループは、農業をテーマにフィールドワークを行い、外部のご協力により農作物に関する深い理解と課題解決に取り組みました。計画立案や役割分担を学び、今後も探究活動に全力で取り組みます。

(2年B組 Aさん)



マラソン大会 成績優秀

10月3日



中学校まで陸上部で鍛えたおかげで、高校のマラソン大会で3年間上位入賞を果たし、達成感を得ました。最後の年は、2位で悔しかったですが、学校行事の中で一番頑張った行事になりました。

(3年A組 Aさん)

初めてのマラソン大会に緊張しましたが、走り始めると気持ちよく走れ、2位に達成感を感じました。来年は、1位を目指して、さらに頑張ります。

(1年A組 Eさん)

足寄高校部活動近況報告！

野球部



秋の新人戦で全道出場を目標に掲げ、日々の練習に励み、秋の新人戦に挑みましたが、地区大会は2回戦敗退でした。今回の大会では、多くのことを学び、経験を積むことができました。来年はさらに努力し、甲子園と全道制覇を目指します。

弓道部



礼儀と姿勢を重視し、9月の新人戦の地区大会で男女団体優勝、2名が全道大会に出場。全道大会では、惜しくも表彰は逃しましたが、この経験を活かして、春の大会に向けて技術向上に励みます。

陸上部



2・3年生の先輩たちが在籍せず、少数の1年生だけですが、毎日練習を重ね、チーム作りに挑んでいます。冬の練習を頑張り、来春の大会で良い結果を出せるよう努力します。

卓球部



目標を可視化し、課題練習に励むことで、多くの選手が全道大会出場。今後の新人戦や高体連大会に向けて、応援と協力を胸に、さらに成長します。

演劇部



高文連大会や春テトラで一人劇に挑戦し、緊張しながらも、良い評価をいただきました。この講評を生かし、来年は表現力をさらに高めたいです。

バスケットボール部

少人数ながら、意見を出し合い楽しく活動中。高体連では初戦敗退しましたが、経験を活かし改善に取り組んでいます。



吹奏楽局

演奏会や行事で音楽を届け、コンクールにも挑戦。夏は本別・池田高校と合同で全道大会へ進出。現在は6名という少人数ながら、アンサンブルやソロで可能な表現を探り、活動を続けています。



茶道部



礼儀や所作を学びながら、心を落ち着かせる活動をしています。文化祭や研修茶会に参加し、誠実に臨む心を大切にしています。

バドミントン部



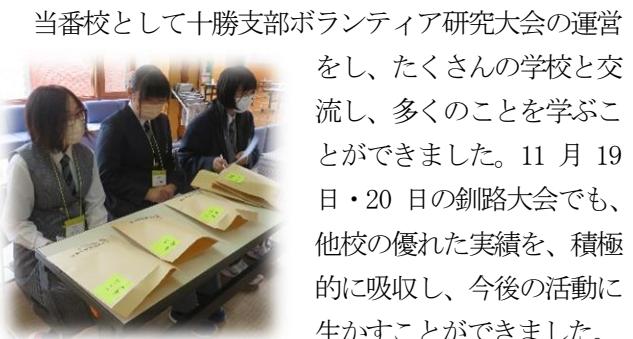
生徒8人と顧問2人で協力しながら練習しています。今年度の大会実績は2部の大会で、ダブルス3位やシングルス16位の実績を残しています。みんなで協力し全員が1部の大会に上がれるように日々練習しています。

バレーボール部



足寄・士幌・緑陽・柏葉高校の4チーム合同で活動しています。このチームでより高い目標を立て、その目標に近づけるように精一杯頑張ります。

ボランティア局



当番校として十勝支部ボランティア研究大会の運営をし、たくさんの学校と交流し、多くのことを学ぶことができました。11月19日・20日の釧路大会でも、他校の優れた実績を、積極的に吸収し、今後の活動に生かすことができました。

吉川活動で躍動する

令和7年度

全道大会出場 弓道部 卓球部 陸上競技部 吹奏楽局

令和6年度

全国大会出場 弓道部

全道大会出場 卓球部 陸上競技部

令和5年度

北北海道大会出場 野球部

全道大会出場 弓道部 卓球部 陸上競技部

後期生徒会執行部始動！！



私は一人一人の個性を大切にし、卒業時に、楽しかったと思えるような学校生活を築きたいと考えています。そのために、お楽しみ会などのイベントを増やし、充実した日常にしていきたいです。私のスローガンは「目標は高く持ち、生徒の意見を届ける」ということです。全校生徒の声を聞き、先生方に届け、責任感をもって行動したいと思います。

(生徒会長 Sさん)

学校の代表として、自分の言動が周囲に影響することを常に意識し、仲間に信頼されるお手本となれるよう、責任を持って行動し、学校全体に良い雰囲気を広げたいです。日々を大切に過ごしていきたいです。

(生徒会副会長 Nさん)

生徒会執行部として、他学年との交流を大切にし、学年の垣根を越えて仲良くできる学校を目指したいです。また、全校生徒が笑顔で過ごせる環境をつくりたいです。

(生徒会副会長 Mさん)



1年生ながら書記局長を務めることになりました。生徒会は初めてで、不慣れな事も多く、生徒会長や先輩方に助けていただくことが多いと思いますが、私は「よく聞く」ことを大切に活動したいです。足寄高校のみんなの声や先生方のアドバイスに丁寧に耳を傾け、執行部の皆さんと協力し、生徒会がもっと身近な存在になるよう一生懸命頑張ります！

(書記局長 Aさん)



生徒会の一員としての責任を自覚し、周りの人達と協力しながら、学校をより良く、過ごしやすい場所にするために努力していきます。また、生徒会活動を通して、自分自身も成長できるよう積極的に活動していきたいです。

(会計局長 Nさん)

私は生徒会執行部としてみんながよりよく過ごせるように他学年と積極的に関わり、いろいろな意見も聞けたらなと思います。また、生徒会活動をしていく中で自分自身が成長し、自分の意見をしっかり持てるようになりたいと思います。

(広報局長 Tさん)

今回僕が生徒会執行部を務めようと思ったきっかけは、行事の際に生徒会の方々がハキハキと話している姿を見たり、楽しそうに仕事をしている姿を見たことです。執行部の先輩方のお役に立てるように一生懸命頑張ります。

(生徒会執行部員 Sさん)

学校の役に立てたらという思いで入会し、先輩方との関わり方や、先生とのコミュニケーションの大切さを学べている気がします。慣れていない仕事や、はじめてのことにも、全て挑戦の気持ちを忘れず取り組めるように成長したいです。これからも頑張ります！

(生徒会執行部員 Wさん)

